西濃桃李高等学校　通信教育実施計画

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２　単位
対象学年	第　　3　　学年				
授業担当者					
使用教科書	東京書籍　311　政治・経済	副教材			
スクーリング	必要出席時間数	２単位×　１　＝２時間以上	スクーリングとレポートを両方合格することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	２単位×　３　＝　６枚			
期末試験	合格得点目標	平均　　点の半分以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会の在り方に関わる現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解し、それらを適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念、理論などを学び、身に付けた力をもとに、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公民として、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

【年間指導計画】※学習方法欄の〇は週５週３、□は週１在宅・配当時間は週５生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート	評価の観点			配当
		スクーリング	レポート	試験	（〆切期日）	知	思	主	時間
4	第一章　現代の政治 第一節　民主政治の基本原理	〇	〇□			〇	〇	〇	
5	第二節日本国憲法の基本原理 第三節日本の政治機構	〇	〇□		No.1 5/12	〇		〇	
6	第四節　現代政治の特質と課題 第五節　現代の国際政治	〇□	〇□		No.2 6/2	〇	〇		
7	第二章　現代の経済 第一節　現代の資本主義経済	〇□	〇□		No.3 7/21		〇	〇	
8	試験対策								
9	前期期末試験 第二節　現代経済のしくみ	〇□	〇□	〇□	No.4 9/29	〇	〇		
10	第三節　日本経済の発展 第四節　福祉社会と日本経済	〇□	〇□			〇	〇	〇	
11	第五節　国民経済と国際経済 第三章　現代社会の諸課題	〇□	〇□		No.5 11/2	〇		〇	
12	第一節　日本社会の諸課題 第二節　国際社会の諸課題	〇□	〇□		No.6 12/8	〇	〇	〇	
1	後期期末試験(3 年)	〇□	〇□	〇□		〇	〇	〇	
2	後期期末試験(1, 2 年)								
3									